

## 2026年度 前期教育計画

面接指導施設名	科学技術学園高等学校			
教科	科目	単位数	履修上の留意点	担当者
家庭	家庭基礎	2	特になし	本校教員・スクーリング講師
指導目標				
自分の今と将来を見つめ、目まぐるしく変化する社会の中で個人の価値を尊重し、自己の能力を伸ばし、人生を切り拓く力を養う。また様々な人と協働し、家庭や地域の中で主体的に課題を発見し、解決する「資質・能力」を育成する。				
教科書名	新家庭基礎 気づく力 築く未来	副教材等	本校作成学習書	
面接指導 (スクーリング)	全実施時間数 11・12 時間	レポート添削指導	全 4 回	
	標準面接時数 4 時間	メディア減免時数	2時間	
定期試験	あり	年間(学期) 1 回	評価割合	定期試験 70% 添削課題 30%
評定算出方法	評点が100～85点は5、84～70点は4、69～50点は3、49～35点は2、34～0点は1			

レポート添削課題		
回数	学習内容	提出期限
1	自分らしい生き方と家族・子どもとかがわる	5月25日
2	高齢者とかがわる・社会とかがわる	6月10日
3	食生活をつくる・衣生活をつくる	6月25日
4	住生活をつくる・消費行動を考える・経済的に自立する	7月25日

面接指導(スクーリング)			
時間数	学習内容	実施日	
		2A木	2B月
1	「自分らしい生き方と家族」社会の動向と作品の登場人物の生き方や家族のかたちから、パートナーとの結婚や家事労働についての考えを深める。	4月16日	4月20日
2	「自分らしい生き方と家族」社会の動向と作品の登場人物の生き方や家族のかたちから、育児休業における個人・家庭・社会の課題に気づき、解決策について考える。	4月23日	4月27日
3	「自分らしい生き方と家族」家族に関わる法律と民法改正について批判的思考を持って検討し、自身の望む生き方や他者との関わり方への考えを深める。	5月7日	5月11日
4	「子どもとかがわる」乳幼児期に発生する事故の原因を、チャイルドビジョン・チャイルドマウスを使用して身体的特徴から理解し、事故の対策と乳幼児との関わり方を考える。	5月14日	5月25日
5	「子どもとかがわる」虐待の種類、影響と愛着について理解し、養育者・子育て支援の観点で虐待防止について考える。	5月21日	6月1日
6	「高齢者とかがわる」高齢者の疑似体験を通して、必要な支援やコミュニケーションの配慮、高齢者が不便と感じる場面を考え、どのようにすれば高齢者が暮らしやすい社会になるか検討する。	5月28日	6月8日
7	「社会とかがわる」社会保障制度のしくみと、自身の生活・人生との関わりを理解し、各国の社会保障の負担率とサービスの在り方を比較して、どのような制度体制が望ましいか考える。	6月4日	6月15日
8	「食生活をつくる」ある1日の食事の事例を、食事摂取基準と食品群別摂取量のめやすをもとに、栄養バランスや自身が想定する「豊かな食生活」の観点で評価し、改善点を提案する。	6月11日	6月22日
9	「衣生活をつくる」衣服を触り素材を確かめながら様々な繊維の特徴や共通点を理解し、しわになりにくい衣服の選択や衣服を縮ませないための洗濯など自身の生活を豊かにするための衣服計画・管理を考える。	6月18日	6月29日
10	「住生活をつくる」安全な住まいをつくるために、防災の視点での家具配置や、住んでいる人の人数や性別・年齢をふまえた備蓄品の確認をし、自身の住まいの改善点を提案する。	6月25日	7月6日
11	「消費行動を考える」「経済的に自立する」理想の一人暮らしについてシミュレーションをして、給与明細に見られる「各種手当」「社会保険料」「税金」などを確認しながら、収入と支出のバランスを考えた適切な家計管理を考える。	7月9日	7月13日
12	「住生活をつくる」高校卒業後の一人暮らしを想定して住まい探しを行いながら住まいに関する知識を習得し、自身の住要求を考えて豊かな住生活とは何か考える。	7月16日	

試験

試験種別	試験範囲	試験日
本試験	レポート添削課題 第1回目～第4回目	8月19・20日
追試験	レポート添削課題 第1回目～第4回目	8月25・26日